

ひのっこ だより

⑤桜谷小学校

長い歴史と伝統、そして自然に恵まれた桜谷小学校は、児童数129名の小規模校です。山あり川あり田園ありという素晴らしい自然の中で、子どもたちは、のびのびと学校生活を送っています。「学ぶ子」「健康な子」「やさしい子」を学校教育目標として「一人ひとりが喜びと充実感を味わえる学校」をめざして取り組んでいます。

●感動体験・科学する心



▲コンピュータプログラミングの学習

コンピュータプログラミングによりロボット操作を学び、科学する心を育てる「ロボット教室」や日本ランキング2位のハードル選手を招いてスポーツの楽しさを学ぶ「陸上教室」を開催しました。また、プロの音楽家の生演奏に触れる「音楽出前授業」やパナソニックの職員による「食育教室」、救急救命士や助産師による「命の学習」など、専門家のご指導の中で、子どもたちは本物を体験し感動を味わったり、自分自身で考え検証する経験をしたりしています。

●異年齢交流の縦割り色別活動



▲縦割り色別活動でさつまいもの苗植え

小規模校の良さを生かして、縦割り色別活動を行っています。1年生から6年生を6色に分けて班を作り、6年生がリーダーとなって活動を進めます。運動会の取り組み、色別セレクト遠足、秋の収穫祭、カルタ大会等、子どもたちはお互いに学びあいながら異年齢交流を楽しんでいます。

●地域の方々とともに

昨年から地域の方々を中心に整備いただいた裏山が、今年桜谷小「ゆめの森」としてリニューアルしました。また、その裏山の下には、今年度、桜谷小ビオトープを整備していただいています。この「ゆめの森」や「ビオトープ」は子どもたちの学習に活用するだけでなく、地域の方々の憩いの場、生涯学習の場ともなることを願って整備されてきたものです。地域の方々と子どもたちとの交流の場にしていきたいと考えています。



▲地域の方々と子どもたちで池の底の「はがねうち」

●特別支援教育のセンター校

本校には、町内の小中学校の通常学級に在籍している子どもで、学級での学習におおむね参加できるものの、情緒面等で何らかの個別の支援を必要としている子どもたちが週1回程度通う「通級指導教室」が設置されています。

また、特別支援教育に関する地域のセンター校として、専門的な知識や情報、指導方法等について、町内の小中学校への情報提供や支援体制構築のためのサポートを行っています。



▲豊かな自然に囲まれた桜谷小学校